

第2号 通巻第47号 平成20年6月10日発行(毎月10日発行)  
① 特集[すべらない結婚]女が夫にしたいくないのはハゲよりチビよりデブ  
② 男300人の秘貯金額大公開 3月収40万超!おいしい地方転職先全リスト

# CIRCUS

20-30男の教養エンタメ

[特集]  
マクドナルド・モスバーガー・  
ロッテリア・ファーストキッチンetc

**ハンバーガー**  
食べ比べ  
グルメランキング

**浅井健一**

×南野陽子  
「媚びたことばかりやっても意味がない」

**ルー大柴**

「ルーはルーでしかないんだ」

**Swing Out Sister**

「完全でなく不完全であることが大事」

独占スクープ

**山本梓** 官能SEXY

巻頭大特集

CIRCUS SPECIAL FEATURE

# すべらない結婚

→女がゆずらない条件  
容姿・年収・結婚後の生活水準・  
SEXから離婚原因まで  
全解明

CIRCUS COVER MUS

綾瀬はるか

CIRCUS IDOL SEX

鷲巣あやの・蒼井そら  
極上SEXY 女番長ブルー

MONTHLY MAGAZINE

月刊サーカス

IT'S SHOW TIME FOR YOUR

PRIDE AND DESIRE!!

2008 JUN.

NUMBER-047

特別定価680円

6  
**内田樹**

貯金狂時代の

「お金」との付き合い方とは

**森達也**

「あなたは裁判員!

なれますか?

次長課長の

OH! NO!人生相談

トータルテンボス

鳥居みゆき

結婚適齢期アイドルが  
語る理想の結婚生活とは

小野真弓・相澤仁美  
平田弥里・安藤沙耶香

離婚経験者が語る失敗する結婚の共通点！

# こんな結婚はやめておけ

離婚カウンセラーや弁護士、そして離婚経験者だからこそ分かる「失敗する結婚」の秘密を伝授。結婚前にしっかりと読んでおこう！



愛情心理カウンセラー  
**山崎世美子**

(株)エンゼル代表。相談者の立場に立った、親身なアドバイスで人気。大阪に加え、この4月から、東京オフィスを開設。  
<http://www.nayami-no.jp/>

アラが見えるのは  
当たり前だと心得よ

「恋愛中は気持ちが盛り上がり、多少の欠点は気にならないもの。それが3〜4年もすると、お互いのアラが見えてくる。そしてちょっとした欠点が我慢できなくなつて離婚、というケースがすごく多いんです」(山崎さん)

離婚経験者へのアンケートでも、「結婚後に、片付けが致命的に下手なのが発覚。散らかった部屋に

帰るのが耐えられなくて……」33歳・男性)、「出産後、私が仕事を辞めた途端に態度が急変。「食わせてもらってるくせに」などと、威張り散らすように」(26歳・女性)など、結婚後に知った相手の本質が原因の離婚はかなり多かった。

「このような失敗をしたくないなら第三者の意見を聞くことが大切。特に親は子供の性格を知り尽くしているものです。親に結婚を反対された場合、反発する前に冷静になってみましょう」(山崎さん)

また、「離婚しやすい職種」にも注意が必要。

## 離婚率の高い職業は？

専門・技術職	男・57.8%	女・11.9%
管理職	男・17.9%	女・32.4%
事務職	男・12.5%	女・9.3%
販売職	男・10.4%	女・21.3%
サービス業	男・31.2%	女・32.4%
保安職	男・9.1%	女・23.1%
農林漁業職	男・12.6%	女・5.7%
運輸・通信職	男・22.5%	女・60.1%
生産工程・労務職	男・8.9%	女・8.9%
無職	男・35.5%	女・15.2%

※厚生労働省平成12年度人口動態統計特別報告より「職業別標準化(有配偶離婚率) (有配偶人口千対)



## 価値観が食い違くと致命傷なのは？



1位 趣味に費やす金や時間に関する考え方 99人

2位 生活リズム、習慣 91人

3位 性生活の嗜好や頻度に関する考え方 76人

4位 ちょっとした出費(外食、服、雑誌、CDなど)に関する考え方 76人

5位 休日の過ごし方 75人

6位 将来のビジョン 70人

7位 食の好み 62人

8位 教育方針 58人

9位 嗜好品(タバコ、酒など)に関する考え方 51人

10位 親の介護に関する考え方 41人

※離婚経験のある520〜30代男性100人、女性100人へのアンケート(複数回答)

「結婚後3年間セックスを拒まれ続け、これが一生続くのかと思つたら耐え切れなくて」(29歳・男性)などということにならないよう、結婚前に性の問題は解消しておくべし。

「例えばSM好きなどの性的嗜好は、できれば結婚前に相手にぶっちゃけましょう。恥ずかしくて言えないから風俗で……なんてこまかしていると、バレてもめる可能性も高いです。たとえ風俗でも「裏切られた」という気分になる女性も多いですから」(山崎さん)



## CASE ♥ 02

同棲3年、結婚1年、別居半年。  
結婚して初めて分かった  
親族関係の煩わしさ…

## 山岸太一さん(仮名)

家電メーカーの営業マン。休日は友人とサッカーや野球に興じる、スポーツ好きで、仲間からの信頼も厚いナイスガイ。

**同** 棲期間は本当にうまくいっていませんでした。だから結婚はふたりにとってごく自然な流れでした。

しかし、意外な落とし穴が。彼女の両親は離婚しており、一人娘の彼女は「お父さんをひとりにできない」と同居を希望したのだ。

「ふたりとも嫁ぎはそこそこありましたが、経済的には彼女の家に住む必要はなかった。でも好きなコノ願いは、叶えてあげたかったんですね。それが、間違っていたんですね……」

最初こそ寛大だった義父だが、「タダで住まわせてやってるんだ」という尊大な態度が徐々に目立つ

ようになっていった。

「その時点で僕は、ふたりで家を出ようと提案したのですが、聞き入れてもらえず……。それどころか、だんだん僕らの仲が悪化になってしまったんです。結局、僕が家を追い出される形で別居。半年経った頃、協議離婚をしました」

書類上は円満離婚だったが、お金のことはかなりもめたそう。

「生活費は僕が出していたのに、慰謝料代わりに僕の貯金をよこせしたのには、びっくりしました。どんなに愛し合った仲でも、離婚してお金が絡むと、驚くほど醜く変わるものなんです」



## CASE ♥ 01

体を壊して退職した後、  
妻のモラハラ発言に悩み……  
泥沼の離婚裁判でグツッリ

## 野上俊介さん(仮名)

現在はアパレルメーカーに勤務する男前。「やっぱり夫婦も男女としての緊張感を保たなきゃだめですね」

**当** 時26歳の野上さんと22歳の元奥さん。この若いカップルの関係にヒビが入り始めたのは、結婚後まもなく、野上さんが体を壊して会社を辞めた頃だった。

「医者から退職を勧められるほど体調が悪かったのに、彼女は「家でブラブラして情けない!」とか、責めるようになってきました。体力的にも、精神的にもつらい時期で支えが欲しかったのに、言うてはいけないひとことを平気で言う。彼女への愛情がどんどん萎えていくのを感じましたね」

その後、元奥さんはパニック症候群を発症してしまいました。口論に

なると必ず過呼吸で倒れ、野上さんのストレスはマックスに。

「夫婦カウンセリングも試しましたが、効果ナシ。僕も限界を感じて、離婚を切り出したんです。でも彼女は、あんなに僕をのりしりまくっていても、絶対別れたくないと言うんです。さらに、僕の浮気を疑って興信所に調査を依頼、僕の友人も敵視して家に呼ぶことを禁止して……べったり依存してくるようになってしまいました。その後ももめにもめて、最終的には離婚裁判。今思い出しても悲惨な日々でしたね。結婚自体はまたしてもいいかなと思うけど、今度はいよいよ自立した方がいいですね」

結婚前にチェックしておきたい  
これだけのポイント

## 1 生活リズム、時間が合うか同棲してみる

コミュニケーション不足は、心のすれ違いの原因になりがち。「仕事の時間帯は、努力だけではなかなか改善できません。だからこそ、大きなポイント」(山崎さん)

## 2 過去の栄光について尋ねてみる

ミス〇〇だったなど、中途半端に栄光を経験した女性は「私はこんなもんじゃない」という意識が強い。「特に若くして栄光を味わった女性は口うるさい家になる可能性大です」(山崎さん)

## 3 あなたと友達の集まりに彼女を誘う

「女性は彼女だけ、というシチュエーションで、取り分けなどの気配りができるか、友人たちの前で、あなたを立ててくれるかなどがチェックできます」(山崎さん)

## 4 彼女の実家にアポなしで行く

目的は、彼女の母親チェック。「女性はなぜか、自分の母親そっくりの奥さんになる傾向があります。突然行っても、家の中がキレイで感じよく対応してくれるなら、合格!」(山崎さん)

ピリッ!!



# 離婚相手はどんな人だった？

こんな結婚は  
やめておけ

## こんな夫でした

- 1位 自分の**生活習慣**を曲げない 48人
- 2位 「自分のほうが**我慢、努力**している」と**被害者意識**が強い 44人
- 3位 **感謝**や**尊敬**の気持ちを**言葉**に表さない 39人
- 4位 **ギャンブル**をする 37人
- 5位 **友達**が少ない 36人
- 6位 自分の意見を**批判**されると怒る 35人  
妻の親族を自分の親族と**同等**に扱えない 35人
- 8位 過去に**浮気**をしたことがある 33人
- 9位 **家事**をしない 32人
- 10位 **片付け**ない 30人

## こんな妻でした

- 1位 「自分のほうが**我慢、努力**している」と**被害者意識**が強い 42人
- 2位 夫の親族を自分の親族と**同等**に扱えない 41人
- 3位 自分の**生活習慣**を曲げない 38人
- 4位 夫の**携帯**を**盗み見た**ことがある 36人
- 5位 自分の意見を**批判**されると怒る 35人
- 6位 **片付け**ない 33人
- 7位 自分の**生活習慣**を押し付ける 29人
- 8位 過去に**浮気**をしたことがある 27人
- 9位 **家事**をしない 24人  
夫の**言葉**を悪くとらえる 24人



(離婚経験のある20~30代女性へのアンケート、複数回答)

(離婚経験のある20~30代男性100人へのアンケート、複数回答)

## 我慢はつきもの 被害者意識は捨てよ

「趣味や友人とのつき合いを、結婚前と同じように楽しめると思っただけに、誰かと生活するために我慢はつきもの。絶対にやるべきは、趣味やつき合いは、独身時代の半分くらいには減らすべきです。奥さんに身の回りの世話をしてもらって、自分だけ楽しもうとする男は、100%離婚されますよ」(前出の山崎さん)

事実、アンケートの回答でも「私が40度の熱を出しても、平気で飲み会へ。やっていけないと思った」(30歳・女性)、「冬は毎週末スキ

1へ。これがけっこうな出費で、子供が生まれて家計が苦しくなっても、私が育児疲れで体調を崩しても、控えてくれなかった」(37歳・女性)と、夫の趣味やつき合いを、離婚原因に挙げる女性が多い。

「要するに、思いやりが足りない。また、自分ばかり我慢して、努力していると主張する、被害者意識の強い人も同じです。自分のことしか考えてないから、相手の苦労をくみ取る能力に欠けてしまっている。そういう人って、大概感謝の気持ちも表さない。口や態度に出さなくても、分かってもらえないと思ってる。そんなことでは、何回結婚してもうまくいくはずありませんよ」(山崎さん)

